

学会通信 (二〇一三年二月～二〇一三年九月)

◎学会員活動

加々美光行

「日中政治摩擦と経済関係への影響―国際関係と民間関係の視点から」(基調講演、富山大学経済学部主催・地域公共政策学会共催)「富山北陸地域政策研究フォーラム」於富山国際会議場(二〇一三年二月二日)、「救亡・啓蒙」と「自由主義・新左派」―文革とは(報告、愛知大学国際中国学研究所センター(ICCS)政治・外交のメトロニチ班主催国際シンポジウム「三つの世代を越えて見えて来るもの―文革世代、六四世代、そして八〇后世代へ」於愛知大学名古屋校舎、二〇一三年二月三日～四日)、「習近平体制の行方」(「情況」二〇一三年七月・八月合併号)

河辺一郎

「安倍政権と日米関係」(「進歩と改革」二〇一三年二月号)、「日米同盟の絆」(「進歩と改革」二〇一三年四月号)、「慰安婦問題と拷問禁止委員会」(「進歩と改革」二〇一三年八月号)

高明潔

『Japanese Anthropology and Ethnology of Early Twentieth-century Mongolia』(口頭報告)

告『The Australian Centre on China in the World (CIW) and the Mongolian Studies Centre at ANU』(二〇一三年三月七日)、『Ethnographic Representations by the Other: Sent-down Youth and Mongolian Nomads during the Cultural Revolution』(口頭報告)『The Australian Centre on China in the World (CIW) and the Mongolian Studies Centre at ANU jointly present a seminar』(二〇一三年三月十九日)

川村亜樹

『Precarious Life in Confession of Trauma: Don DeLillo's *Falling Man* Resisting the Power of Death』(日本アメリカ文学会中部支部『中部アメリカ文学』第一六号、二〇一三年三月)、『英語で現代中国・アジアを多角的に読む2―The Nickel Weeklyを活用したブラクテイカル・イングリッシュ・トレーニング』(編著、大学教育出版社、二〇一三年四月)、『理論以後のアメリカ文学―移動と環境による惑星の再構築』シンポジウム司会・講師、『Cornac McCarthyの *The Road* における脱構築とプラグマティズム』担当発表(第三〇回日本アメリカ文学会中部支部大会、於中京大学、二〇一三年四月二一日)

黄英哲

『Cold War Narratives in Japan』(学会発表)

中国21 Vol.40 予告(14年3月刊行予定)

特集●中国社会の

矛盾と展望(仮題)

改革開放から三十年年来、中国は飛躍的な経済発展を遂げ、人々の生活水準が大幅に向上した。一方、市場経済の浸透に伴い、利益の多元化が進み、格差が急速に拡大した。その結果、さまざまな社会矛盾が深刻化し、大きな社会不安が引き起こされた。本特集では、多くの社会問題が噴出する中国社会の現実を踏まえながら、中国と日本の社会学界を代表する学者たちが、「断裂社会」の問題、基層社会の自治と秩序の再編、三農問題、労使関係や集団陳情の問題、道徳的危機の問題などの側面から、中国社会が抱える各種の社会問題にメスを入れ、その矛盾と問題の根源を考察し、中国社会の行方を展望する。

【座談】李路路×張静×馮仕政×李曉東
【論説】孫立平、李路路、温鉄軍、馮仕政、中村則弘、陳立行、首藤明和、李曉東、石井知章、高橋五郎ほか

Cold War and East Cultural Politics: Chinese Perspectives、於ハーバード大学、二〇一三年四月四日）、『Mr. Fujino Comes to Taiwan』（学会発表、Lu Xun and East Asia International Conference、於ハーバード大学、二〇一三年四月五日〜六日）、『許寿裳与戦後台湾研究的展開』（『近代國家の型塑——中華民國建國一百年國際學術討論會論文集』台北：國史館、二〇一三年六月）
辭鳴

『談漢語復句教學——以日本學生為例』（学会発表、第五回アジア太平洋地域國際漢語教育学会「異なる社会、政治、文化背景における漢語教育」於メルボルン大学、二〇一三年八月二四日）、『日本人と中国人のコミュニケーション』（講演、於北京語言大學繼續教育網絡教育学院、二〇一三年八月二一日）

唐蕪蕪

『中国における労使関係と人事管理』（『中国進出口系企業の基礎的研究』労働政策研究・研修機構、二〇一三年五月）、『中国における労使関係と今後の展望——外資系企業への対応』（『連合総研レポート』DIO No.283、二〇一三年六月）

樋泉克夫

『中国、“これまで”と“これから”——二つの中国』（講演、名古屋銀行本社、二〇一

三年三月一九日）、『陸のASEANと中国結ぶ鉄路と軍部への進軍』（『エコノミスト』二〇一三年三月二六日号、毎日新聞社）、『中国こそグローバル化の最大の受益者』（『エコノミスト』二〇一三年三月二六日号、毎日新聞社）、『二つの中国』を考える（講演、財団法人OISCA 四国支部二十周年記念総会、四月二五日）、『中国の熱帯への進軍』の現在（講演、在バンコク日本人会、二〇一三年八月三一日）、『東南アジアの部屋』（連載、『Foreigner』（電子版）新潮社）、『華人企業家の夢と野望』（連載、『Asia Market Review』重化学工業通信社）

馬場毅

『清末・民国期の小站開発と水利』（天野本研究会主催・東京大学社会科学研究所現代中国研究拠点共催『華北デルタ開拓シンポジウム—軍糧城と小站』於東京大学、二〇一三年五月二一日）、『孫文の大アジア主義』（愛知大学東亜同文書院大学記念センター・東亜大学・国父纪念馆共催国際シンポジウム「孫文と東アジアの平和」於愛知大学名古屋校舎、二〇一三年七月八日）、『東亜同文会与辛亥革命』（中国社会科学学院近代史研究所・湖北大学主催・首都師範大学共催『社会文化与近代中国社会転型——第五届中国近代社会史国際學術研討会』於襄

陽『南湖賓館』（二〇一三年八月二四日）
松岡正子

『中国のお正月と年画』（講演、蟹江町大学連携講座、二〇一三年二月二日）、『汶川地震後のチャングル研究(1)』（愛知大学国際問題研究所紀要』第一四二号、二〇一三年三月）

